

「瑞穂小だより」

令和6年 6月12日
令和6年度 第7号 電子
伊丹市立瑞穂小学校 校長室

＜学校教育目標＞『「いのち」かがやく 瑞穂の子 ～心豊かに たくましく～』
—あしたも来たいと思える学校—

心豊かにたくましく 輝く生命を大切に 平和を創る人へ ～ 修学旅行で学んだこと ～

6年生は6月8日～9日、広島・宮島方面へ修学旅行に行ってきました。
今年は、宿舎等の関係で土日に行くことになり、混雑も心配していました。
皆様のご支援のお陰で、小学校生活最後の宿泊行事は、全行程を無事終え、
貴重な学びにすることができました。ありがとうございました。



「なぜ広島に行ったのか」それは「人間にとって一番大切な生命と平和を学ぶため」です。

子どもたちは、実行委員会を組んで、「命の尊さ・平和のありがたさを感じ 思いで作る修学旅行」
とのスローガンとともに、各係の目標やめあても決めて、主体的に準備を進めてきました。



広島平和公園では、まず、「原爆の子の像」の前で、
「平和を誓うセレモニー」を行いました。

「平和の心をつなぎます」との「誓いの言葉」を述べました。
また、平和を願って心を込めて折った千羽鶴を捧げました。
黙祷をして、平和な社会を作ることと誓い合いました。
そして「千羽鶴の歌」の綺麗な歌声が平和公園に広がりました。

外国から来られた方も足を止めて、子どもたちの歌声を熱心に聴いてくださいました。厳粛な雰囲気の中でセレモニーを行える6年生をたくましく感じました。

昼食後、班活動で「碑巡り」を行いました。

学校で事前に行きたいところを班で相談していました。この日もみんなで協力して時間を有効に使って熱心に活動できました。



「広島平和記念資料館」を見学しました。

インターネット等で見ていた子もいましたが、実際にリアルで見学すると新しい気付きもあったようです。

「貞子さんの鶴」や、ウクライナの大統領が言及した「人影の石」等では、足を止めてとても熱心に見学していました。

また、懸命にメモをとり、友達と話し合う姿も多く見られました。日頃から磨いてきた学び方が生かされていました。



そして、証言者の笠岡貞江さんから貴重な講話を伺いました。

笠岡さんは、12歳の時に被爆され、ご両親を原爆で早くに亡くされました。「家に帰って『ただいま!』と言っても、『お帰り!』と言ってくれる親がいなかったのがさみしかった。原爆はみんなの幸せを持っていってしまった。」とのお話は心に残りました。そして、「平和は愛の心。意見が違っていても認めて合うことはできる。広島に来たので、多くの人に伝えてほしい。これからの皆さんに期待します。」とのメッセージを託してくださいました。代表児童のお礼の挨拶では、「戦争は遠い昔の話とも思っ



いたけど、大切な心を受け継いでいきたいと思います。」と感謝と誓いの心をお伝えしました。

私が初めて修学旅行の引率をしたのは約30年前。それから資料館等が建て替えられました。

一方で、私には広島に来る度に変わることなく学び続ける心があります。

『戦争ほど、残酷なものはない、悲惨なものはないこと』

平和資料館や証言者の方のお話から、一発の原爆で、広島街が火の海になってしまい、多くの生命が一瞬でなくなってしまうことを学ぶとともに、無念だったと感じました。また、放射能の影響が後々にでて、今でも苦しんでいる方もおられることなどを学び直し、原爆の恐ろしさを実感しました。

『平和ほど、尊いものはない、幸福なものはないこと』

昨年のサミットは広島で開催されました。世界の国々からのリーダーも平和公園を訪れ、資料館などを視察されました。

修学旅行中にも世界中から来られた方にお会いしました。戦争について学び、平和になるためにどうしたら良いかを真剣に考えておられました。「平和を願う心に国境はない」と思いま

した。



2日目は宮島です。

朝から雨でした。バスで宮島口まで向かい、そこからフェリーで宮島に到着しました。

厳島神社を歴史の重みを感じながら見学しました。参拝を終えると、雨があがりました。砂浜で神社をバックにクラス写真を撮ることができました。大鳥居は2年前まで工事中でしたが綺麗になりました。この日は、海

の中に立つ大鳥居に出会うことができました。



「買い物タイム」では、家族の方などの顔を思い浮かべながら、しっかり計算して、お土産をガッチリ買っていました。お店の方にも相談している姿も見かけました。時々雨が激しく降りましたが、班のメンバーと協力して行動していました。

宮島口駅から広島駅までは、JRに乗りました。疲れが出てきていますが、電車の中ではマナーを守り、静かに過ごしていました。また、席を譲っている子もいました。瑞穂の子の優しさが輝いていました。新幹線の中も立派でした。

そして、子どもたちは、広島での貴重な思い出を胸に刻んで、瑞穂小学校に帰ってきました。



今回の修学旅行は、雨が激しい時もあり難しい天候でしたが、6年生は先生の話をしっかり聞き、機敏に行動できるので、すべての計画を進めることができました。また、友達等と楽しく過ごす時を大切にすると共に、集合の仕方や電車内等のマナーを守って取り組む姿勢がどんどん良くなってきました。

広島で「平和について学んだ2日間」は、瑞穂小の最高学年として立派な行動でした。みんなで協力して成長する姿に、本校のリーダーとして頼もしく感じました。スローガンが達成でき、最高の思い出づくりも大成功。そして修学旅行から「平和めざして」新たな出発をすることもできました。今後も、輝く生命を大切にして平和を創る人としての大活躍を期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様には、子どもたちの健康管理や荷物準備等でご支援・ご協力いただき、心から感謝しています。また、お見送りとお出迎えには、たくさんの方に来ていただきました。

誠にありがとうございました。